

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 矢田西中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立矢田西中学校
生徒数(人)	50

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	62.3	50.2	56.6	49.8	55.1
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

平均正答率では、5教科とも大阪市平均を下回った。国語では、その差が少なかったものの、社会・理科では、特に活用問題での正答率が低く、大阪市平均から6~7ポイント下回った。

数学・英語でも、基礎問題は6割程度正解しているが、活用問題では4割台と低くなっている。

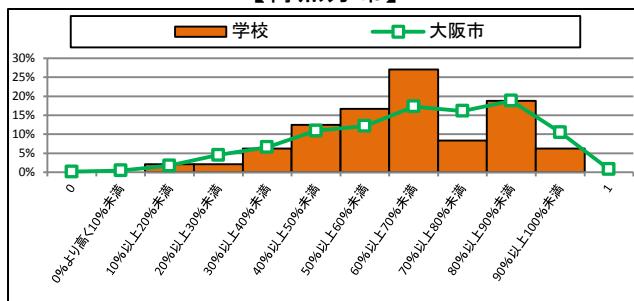
成果と今後取り組むべき課題

- 「授業がよくわかる」を追求し、基礎学力の定着を図る一方で、「読むこと」「書くこと」など思考・判断・表現を踏まえた内容の授業展開や工夫を図り、個々の教員の授業力のさらなる向上をめざす。
- 個に応じた指導やＩＣＴ機器の活用を積極的に取り入れ、生徒の興味・関心の向上を図る。
- 基本的生活習慣の確立や生徒集団の育成に継続して努めるとともに、家庭とも連携し、家庭学習習慣や主体的・自主的な学習態度の育成を図る。

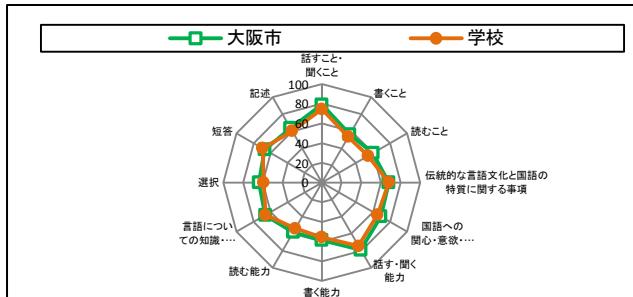
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

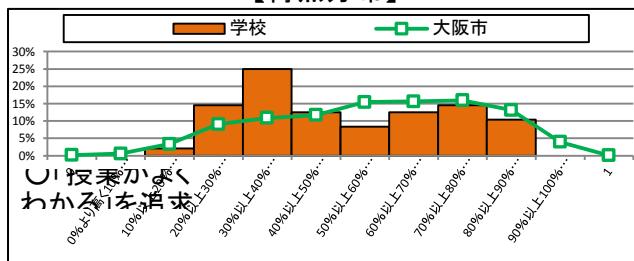


【領域・観点・問題別の分布】



【社会】

【得点分布】

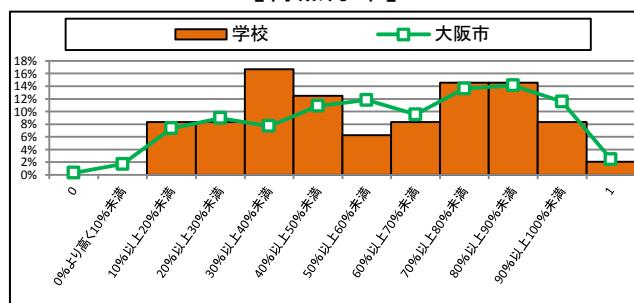


【領域・観点・問題別の分布】

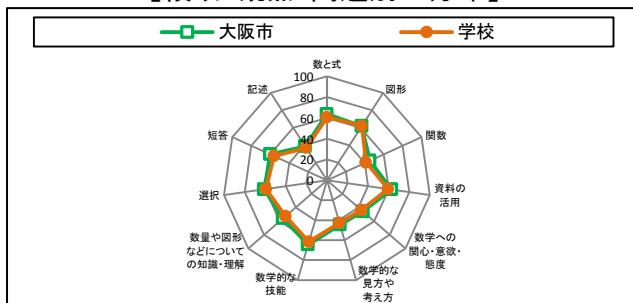


【数学】

【得点分布】

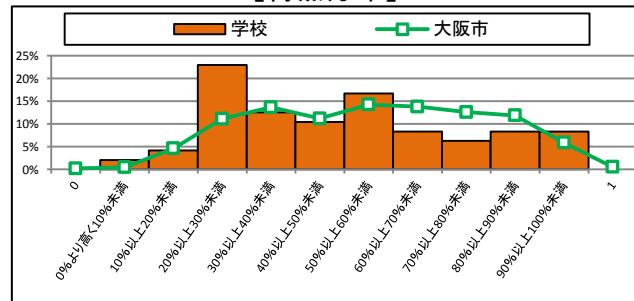


【領域・観点・問題別の分布】



【理科】

【得点分布】

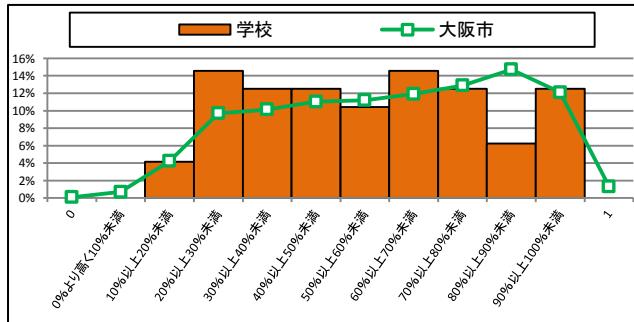


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

